

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[安定型](平成 30年 11月度)

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3の3イ]

種類	数量(単位)	
廃プラスチック類	0.0000	(t/月)
ゴムくず	0.0000	(t/月)
金属くず	0.0000	(t/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	0.0000	(t/月)
がれき類	0.0000	(t/月)
アスベスト含有 ガラス・陶磁器	20.5010	(t/月)
アスベスト含有 プラスチック	0.0000	(t/月)
〃 金属屑	0.0000	(t/月)
〃 がれき	2.9900	(t/月)
	23.4910	(t/月)

展開検査の実施状況[規12条の7の3の3ハ]

実施回数	15台	15回
展開検査の場所	別紙1の「場内見取図」の通り	
安定型産業廃棄物以外の 廃棄物の付着又は混入が 認められた年月日	令和	年 月 日
	令和	年 月 日
	令和	年 月 日

浸透水のBOD又はCOD検査の実施状況と措置(月1回実施)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1(浸透水採水1号)	
採取日	平成30年11月12日	
分析結果が得られた日	平成30年11月15日	
BOD*2		基準値 20mg/ℓ以下
COD*2	7.2mg/ℓ	基準値 40mg/ℓ以下
異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
必要な措置を講じた年月日 とその内容		

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1
採取日	平成30年11月12日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
分析結果が得られた日	平成30年11月15日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
分析結果	別紙1「場内見取図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り*3	別紙1「場内見取図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り*3	別紙1「場内見取図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り*3
異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・無	有・無
必要な措置を講じた 年月日とその内容	11月は「浸透水(採水設備2号)」の CODの測定のみで、結果7.2mg/ℓで 異常なし		

施設の点検[規12条の7の3の3ロ]

	擁壁等
点検日	平成30年12月10日
異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
必要な措置を講じた年月日及び当該措置の内容*4	11月14日 新発田地域振興局環境センター 松井課長代理、 小澤主任が立入り検査に来場されました。3月にご指導頂き、改善した 内容を確認され、今年末までに実施することを確実に履行することを 再確認されました。また、場内視察では、飛散防止ネット付近の 「廃プラ」について注意を受けました。今年末までの宿題は、 完成次第、環境センターへ持参し、報告する予定です。 11月28日 新潟地域振興局農用地課の笹川農林振興技術専門員、 農用地課伝川主査2名が来場、現地確認と「林地開発行為の延長」 の申請書の不足書類のご指導を頂戴致しました。





施設の残余容量

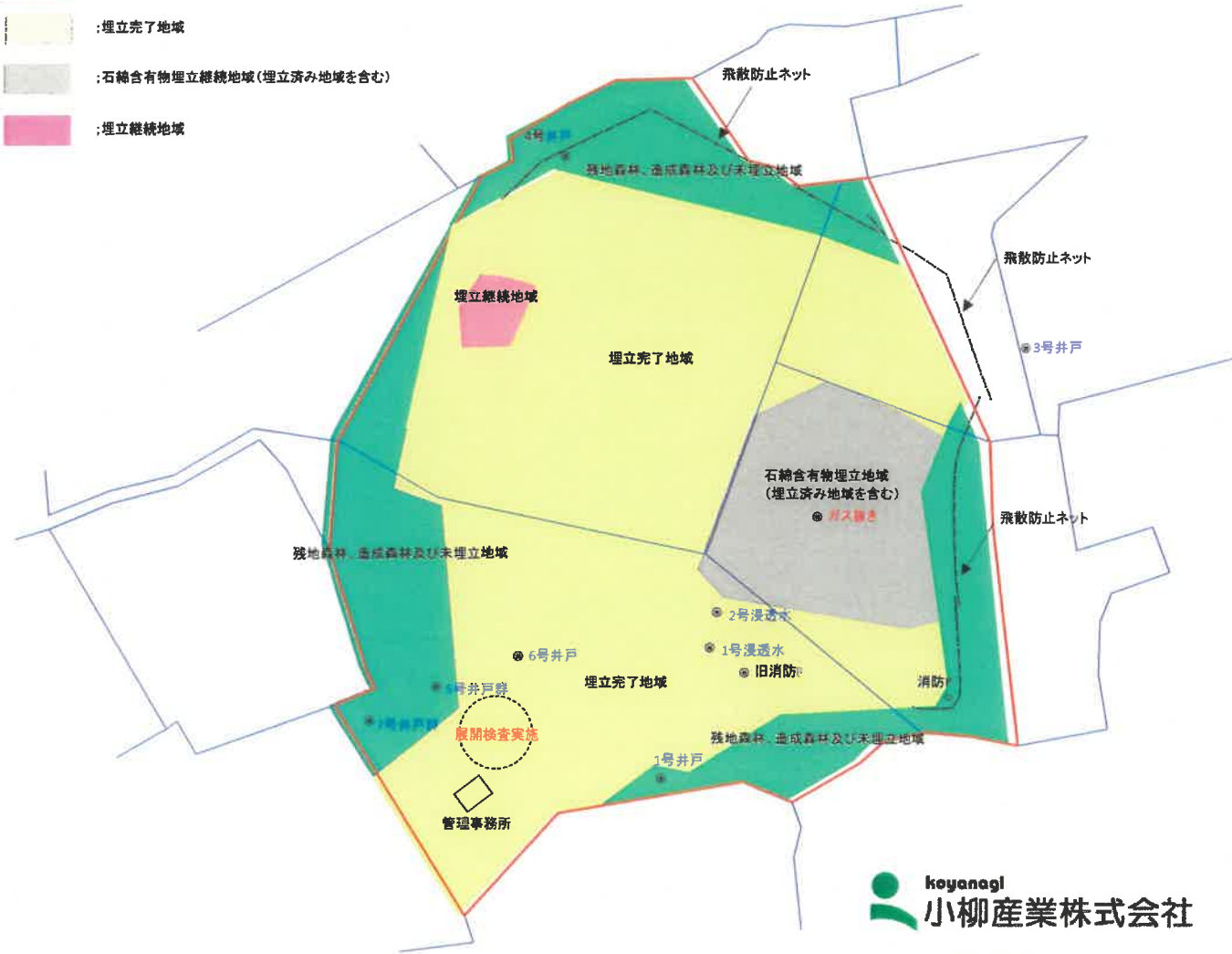
①先月末の残余容量(m3)	②今月埋立量(m3)	③今月末残余容量;①-② (m3)
6,014m3	44.00 m3	5,970 m3


*1 処分場の平面図に位置を明示すること。 *2 いずれかを記載すること。 *3 別紙2に記載するか「計量証明書」を添付すること。 *4 異常が認められた場合のみ記入すること。

別紙1:小柳産業株式会社最終処分場 見取り図

令和2年版

-  : 残地森林、造成森林及び未埋立地域
-  : 埋立完了地域
-  : 石含有物埋立継続地域(埋立済み地域を含む)
-  : 埋立継続地域



 koyanagi
小柳産業株式会社

957-0105
新潟県北蒲原郡聖籠町大字次第浜字烏川3695-1
小柳産業株式会社 最終処分場
TEL&FAX 0254(41)4148

許可面積 18,178m²
総面積 19,991.17m²

(令和2年3月12日見直し)